

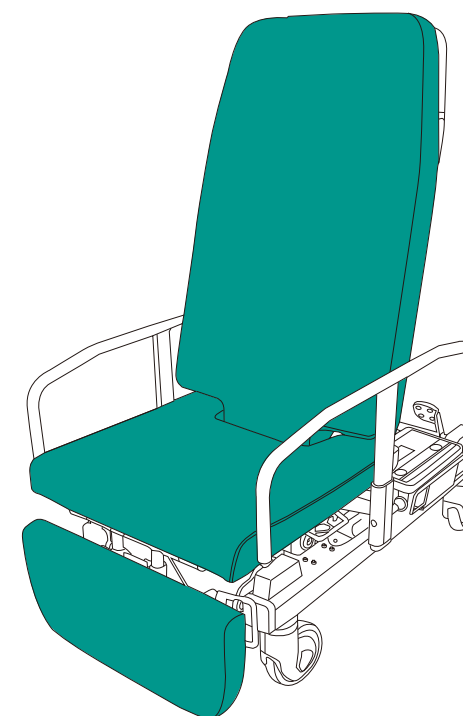
デュアルスケール TB-12K

取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、タカノ製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。

- ・この説明書には本製品を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。
- ・ご使用前に、よくお読みの上、正しく安全な取扱い方法を十分理解してからお使いください。
- ・この説明書は、いつでも出して見る事ができるよう、大切に保管してください。
- ・お求めいただきました商品の仕様、外観、価格は予告なしに変更する事があります。



安全にお使いいただくために	2ページ
1. はじめに	4ページ
1-1 概要	
1-2 設置場所のお願い	
1-3 使用上のお願い	
1-4 使用の制限	
2. 梱包内容と各部の名称・機能	
2-1 本体部	5ページ
2-2 表示器部	6ページ
3. 使用前の準備	
3-1 設置上の注意	7ページ
3-2 設置	7ページ
3-3 電源の準備	7ページ
4. ご使用方法	
4-1 トータルロックの使い方(キャスターを固定する)	10ページ
4-2 高さ調整のしかた(ベットに高さを合わせる)	11ページ
4-3 ストレッチャー・イスの状態変換のしかた	12ページ
4-4 レッグレスト角度調整のしかた(イスでの測定時)	13ページ
4-5 サイドバーの使い方	14ページ
4-6 測定のしかた	15ページ
各機能の説明	16ページ
4-7 ベットからの移乗方法	17ページ
(移乗ポート「のせかえくん」を使用しての移乗の場合)	
5. 内部設定	
5-1 設定方法	18ページ
5-2 内部設定一覧	19ページ
6. お手入れの仕方	20ページ
7. 故障かな?と思ったら	21ページ
仕様	
8. 8-1 本体仕様	22ページ
8-2 計量仕様	22ページ
8-3 外形寸法	23ページ
9. 重力加速度の大きさと範囲	24ページ
10. 保証とアフターサービス	25ページ
11. 保証書	26ページ

製品の保証について

この商品には、取扱説明書の巻末に保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証期間中の修理など、アフターサービスについてお問い合わせがございましたら、お買い上げの販売店またはタカノ（株）までご連絡ください。なお、修理の際は以下のことを、お伝えください。

- 1 お名前、お電話番号、ご住所
- 2 商品名、お買い上げ日（保証書をごらんください）
- 3 故障内容・異常の状態（できるだけ詳しくお願いします）



保証期間後の修理についてはお買い上げの販売店もしくはタカノ（株）にお問い合わせください。修理により、正常に使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。


タカノ株式会社 健康福祉部

オフィス 〒399-4431 長野県伊那市西春近下河原5331 TEL.0265-72-3157
FAX.0265-72-3203

安全にお使いいただくために

この商品を安全に正しく使用していただくために、事前にこの取扱説明書をお読みになりご理解ください。お読みになった後はいつも大切にお手元に置いてご使用ください。
ここに表記した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表記と意味は次のようになっています。

警告サイン	内 容
 警告	この表示を無視して誤った扱いをすると、人が死亡または重傷を覆う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を覆う可能性、物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

 **警告**

- ◆本製品は体重計です。人を乗せた状態で移動させないでください。
- ◆ストレッチャー状態（平らな状態）のクッションの上で、飛び跳ねないでください。ケガや故障の原因になります。
- ◆ストレッチャー状態、イス状態を問わず、階段、エスカレーターでは使用しないでください。
- ◆変換操作時、「昇降操作時、移動時」は、「周囲に十分確認注意し、又、」下空間に人や「物が」入り込んでないか十分に確認してください。
- ◆キャスターは確実に固定してください。
- ◆分解、改造はしないでください。
- ◆ストレッチャー時、端に乗ると転倒し、ケガをする恐れがあります。
- ◆坂道など傾斜のある場所での使用は十分に注意し、傾斜の強い坂道は必ず、後ろ向きで走行させてください。また、傾斜地での駐車は絶対にしないでください。
- ◆冬場の雨や雪の日など、路面が凍結し、すべる所や砂利道では使用しないでください。
- ◆移乗の時はベッドと本製品をぴったりとつけてください。隙間を開けると移乗者が落下したり、製品が転倒する可能性があります。
- ◆踏み台がわりに、デュアルスケールの上に立ったり。足をかけて立ち上がったたりしないでください。倒れたり、壊れたりして、怪我をする恐れがあります。
- ◆尚、万一異常が発見された場合、速やかに使用を中止し他の方が使用しませんよう、本体に故障中の表示を行い、弊社または販売店へご連絡ください。
- ◆車イス状態での搬送は昇降の最低位置で行ってください。ストレッチャー状態での搬送は極力低い位置で行ってください。転倒してけがをする可能性があります。

9 重力加速度の大きさと範囲

本体重計は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。
例えば、埼玉県の場合「9.796～9.801m/s²」または「9.794～9.799m/s²」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	使用地域（都道府県）
9.803～9.807m/s ²	北海道
9.799～9.804m/s ²	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県
9.796～9.801m/s ²	福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都(八丈・小笠原支庁を除く) 神奈川県 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県
9.794～9.799m/s ²	群馬県 埼玉県 千葉県 東京都(全域) 神奈川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県(薩摩地方に限る)
9.789～9.794m/s ²	鹿児島県(薩摩地方を除く) 沖縄県



注意

取り扱いを誤ると、傷害を負ったり故障の原因となる恐れがあります。ご使用の際にはご注意ください。

お使いになる前に、次の事を必ずご確認ください。

1. キャスターロックの効き具合
2. イス状態とストレッチャー状態がスムーズに行え自由な位置で止まる。
3. レッグレストの位置調整、角度調整が確実に行える。
4. サイドバーの高さ調整が確実に行える。
5. 昇降がスムーズに行え、異音などの異常がない。
6. 尚、万一異常が発見された場合、速やかに使用を中止し故障中の表示を行い、弊社又は販売店へご連絡ください

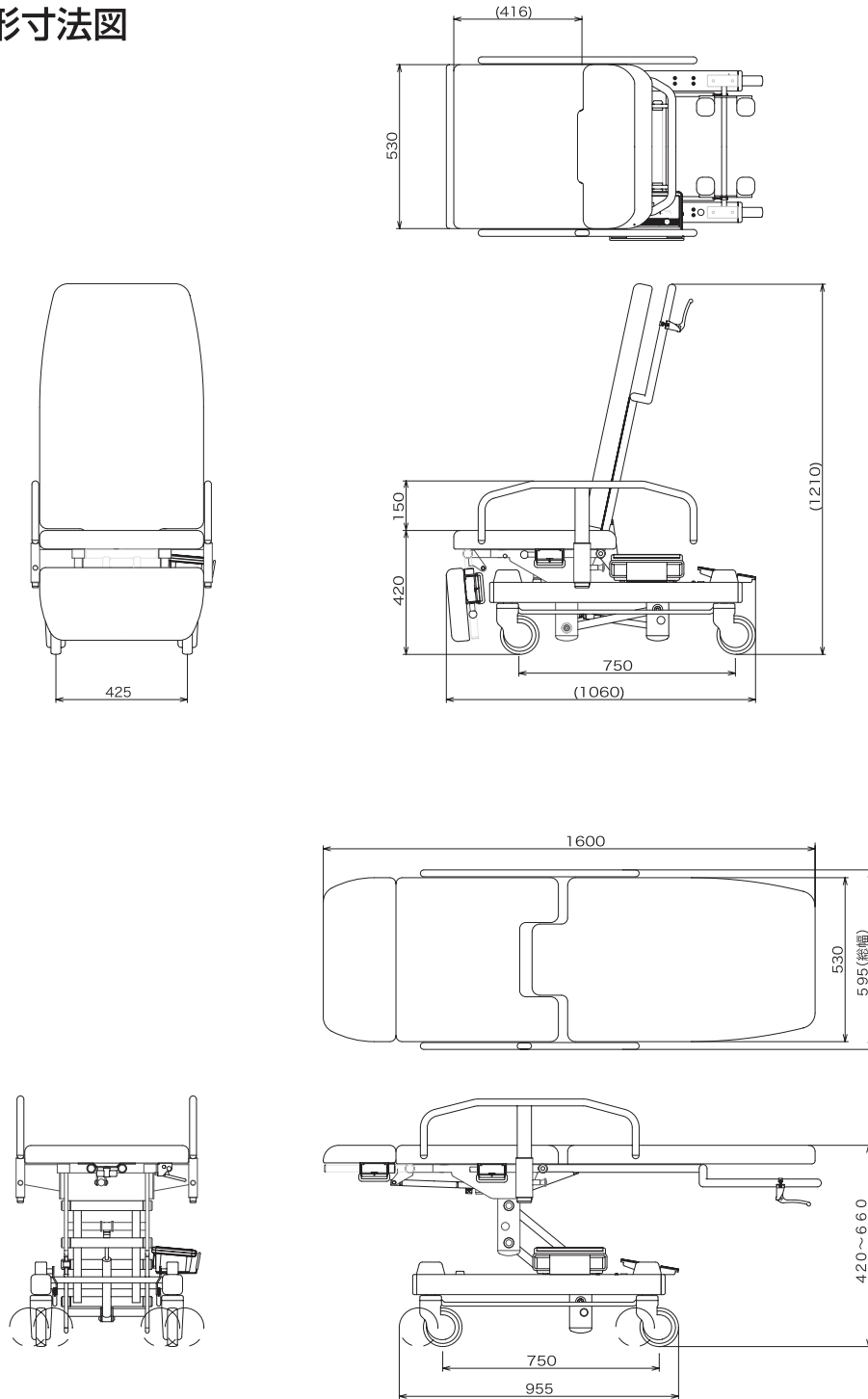
- ◆キャスターロックは、走行中のイスを停止させるための設計になっていませんので、走行中にキャスターのロック操作は行わないでください。
- ◆ストレッチャー状態で、人が乗っている場合は落下防止のため、必ずサイドバーを上げてください。
- ◆本製品は一人用の設計です。
二人以上の使用や、人以外の重い物を絶対に乗せないでください。
- ◆火気（ストーブ、たばこの火等）に近づけて使用しないでください。
- ◆ストレッチャーからイスへの変換等はゆっくり行ってください。
- ◆各部に、刃物や角張った物を当てないで下さい。

◆ウェイトトレーニングやリハビリ用具として設計されていないので、そのような使用はしないでください。

◆専用のオプション部品以外を外付けして使用しないでください。

1.はじめに

8-3 外形寸法図



1-1 概要

- 本製品は、体位変換のできる車輪付体重計です。
- 被測定者、寝た状態で、あるいは座った状態で安全に計量できます。
- 99.9kgまでは100gの表示分解能を持ちます。
- さらに、表示を固定するホールド機能、寝具などの重量をゼロキャンセルする風袋引機能等があります。
- 電源はACアダプタあるいは単2乾電池を使う事ができます。
- オートパワーオフ機能で乾電池の消耗を防ぐ事が出来ます。

1-2 設定場所のお願い

- 振動や風の影響を受けない平らな場所で、かつ本体および被測定者の重さにも耐えうる床上に設定して測定してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 外来電流ノイズ、強力な電波、磁気等の影響を受けない場所で測定してください。
- 引火、爆発するおそれのある物質の近くには設置しないでください。
- 設置場所の温度、湿度は本機の温湿度範囲以内にしてください。

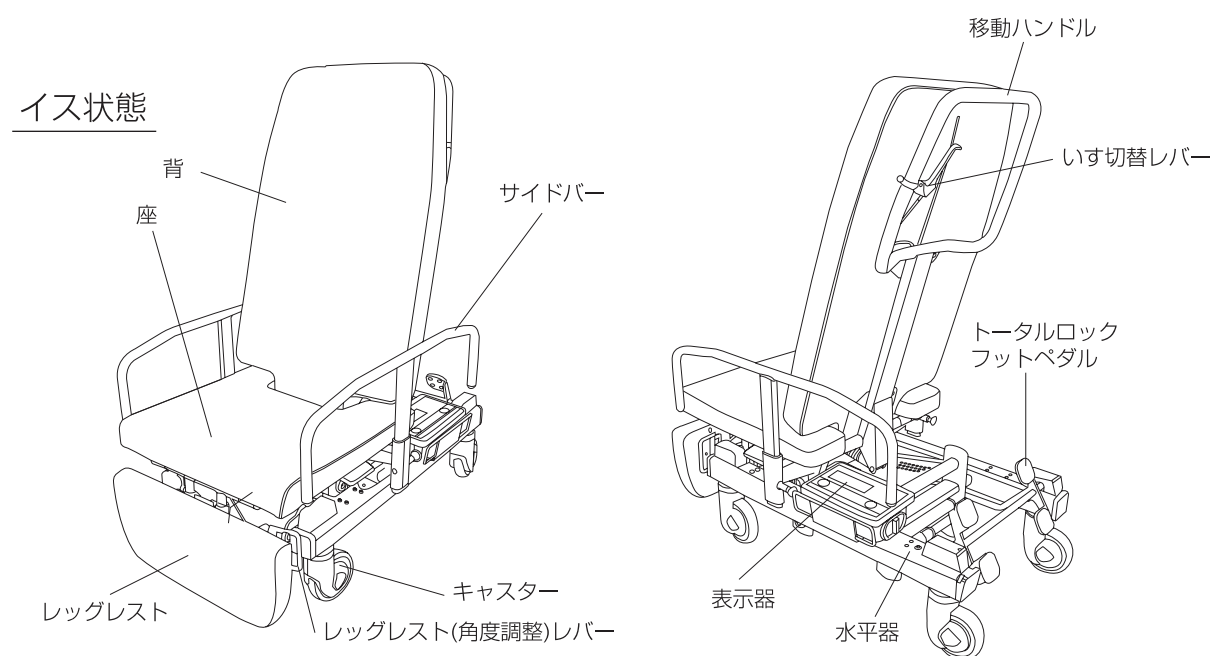
1-3 使用上のお願い

- ボールペン等尖った物でスイッチを押さないでください。故障の原因になります。
- 体重を測定する時、静かに乗り、測定が終了するまで身体を動かさないでください。（“4.使用方法”参照）
- 本機は人間の体重を測定することを目的としています。それ以外の目的で使用しないでください。
- 体重計としての性能を維持するために取扱いに留意してください。特にキャスターに物をぶつけたり、段差で強く乗り越える等の衝撃を加えない様ご注意ください。

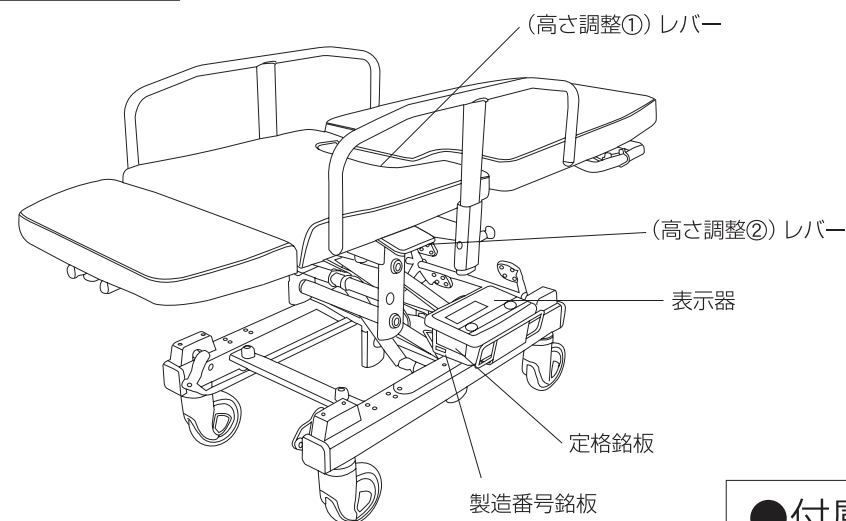
1-4 使用の制限

- 最小表示は100g(99.9kgまで)と200g(100.0kg以上)の自動切替になっています。
- 検定付きの体重計の校正はユーザーは行えません。定期点検等はお買い求めの販売にご相談ください。
- 使用地域の制限
本器は特定計量器です。
「取引」や「証明」に使用する場合、決められた重力加速度値で使用してください。
本器は、日本全国の重力加速度に対応しているため使用地域の制限がありません。
- ひょう量と最小測定量
取引または証明に使用する「ひょう量」と「最小測定量」は銘板および表示器に記載されています。
「取引」とは、計量法の「有償であること無償であることを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。
「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。
- 定期検査
本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第11条により2年に1回定期検査を受けることが義務付けられています。
当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県の計量検定所、又はお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 使用温度範囲
本器は、使用温度範囲内でご使用ください。

2-1 本体部



ストレッチャー状態



●付属品
ACアダプタ

8-1 本体仕様

品 番		TB-12K
寸 法	全 高	ストレッチャー時／420～660mm (450mm以下にすると表示器操作面が見えなくなります) イス時／1210mm
	奥 行 き	ストレッチャー時／1600mm イス時／1060mm
	全 幅	595mm
	最 大 負 荷	100kg（移動時）
	座 幅	530mm
	座 奥 行 き	416mm
	背もたれ角度	0°～75°±3°
材 質	カ ス タ ー	φ120 トータルロックタイプ
	フ レ ー ム	鋼管フレーム
	表 生 地	塩化ビニール

8-2 計量仕様

ひょう量	150kg
目量（最小表示"d"）	100g（99.9kgまで） 200g（100.0kg以上）
最小測定量	1kg
精度等級	4級
最大風袋引き量	99.9kg
表示方法液晶表示	文字高さ26mm、7セグメント
使用温湿度範囲	0℃～+35℃、85%RH以下（但し、結露しないこと）
電 源	ACアダプタ:AC100v50/60Hz 6VAまたは単2形乾電池4本
計量皿寸法	530mm×1600mm
重 量	約59kg

修理を依頼される前に以下の項目をもう一度チェックしてください。

症 状	チェック	処 置	参照ページ
◇移動できない	◇キャスターロックがされている	◇キャスターロックを解除する	9
◇まっすぐ進まない	◇キャスター操作ペダルの位置	◇キャスター<機能3>を使う	9
◇昇降できない	◇昇降範囲の上限又は下限まできている	操作方法を確認して下さい	10
◇中間位置でも昇降できない		◇ご使用を中止しお買い求めの代理店にご連絡ください	10
◇状態変換できない	◇ワイヤーケーブル ◇操作レバー	◇お買い求めの代理店にお問い合わせください	11

7-1 エラー表示

荷重超過エラー



計量値はひょう量を超えたときに出るエラーです。
計量皿の上のものを取り除いてください。

レンジ超過エラー



重量センサが上方向に強い力を受けたときに出るエラーです。
計量皿が何かに引っかかっているか、ベース部に異物が入り込んでないかなど確認してください。重量センサ、あるいは内部回路が故障している可能性もあります。

ローバッテリー



電池が消耗し電圧が下がったときに表示されます。新しい電池と交換してください。
電池が消耗して電圧が下がってしまいます。新しい電池と交換してください。

電源電圧不足



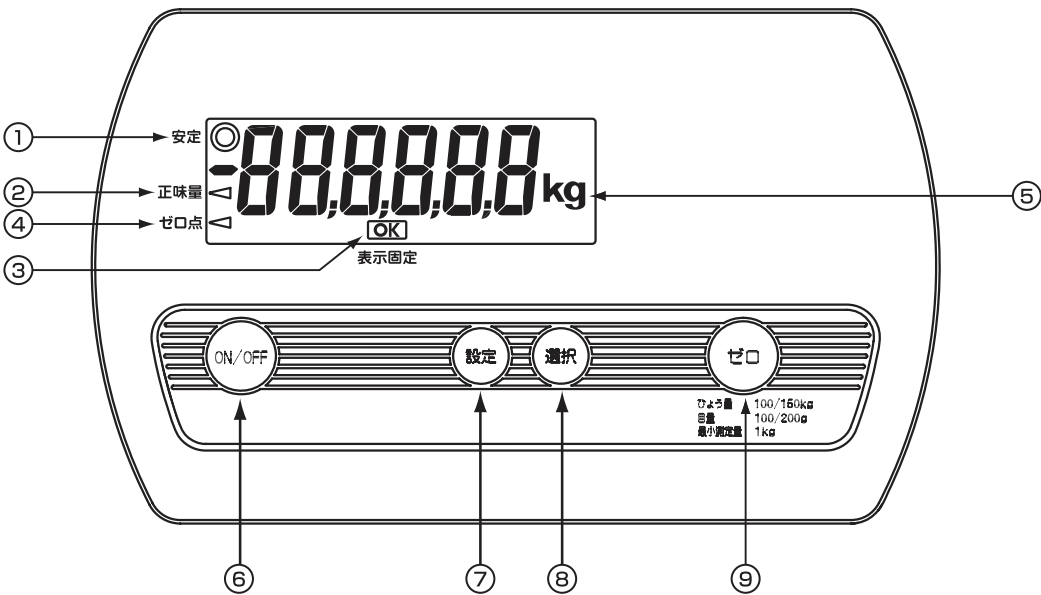
A Cアダプタ使用時、電源の電圧が低すぎるときに表示されます。周囲の配線状況など確認してください。

メモリ書き込みエラー



内部設定変更などでメモリへの書き込みを行ったとき、正常に記憶できなかったときに表示されます。一度電源切り、もう一度同じことを試してください。それでも表示されるときには、メモリ関係の故障が考えられます。

2-2表示器部



表示・シンボル

	表示・シンボル	説 明
①	安定 ○	計量値が安定しているとき点灯します。
②	正味量 ▲	容器（風袋）の重さが差し引かれているとき点灯します。
③	表示固定OK	体重値が確定した後、固定表示しているときに点灯します。
④	ゼロ ▲	体重値がゼロ（基準点）のとき点灯します。
⑤	kg	計量単位"kg"が点灯します。

操作スイッチ

	表示・シンボル	説 明
⑥	ON/OFF	電源をオン/オフします。 電源をオンしたときは、自動的にゼロを取ります。（パワーオンゼロ機能）
⑦	設定	体重計の内部設定を変更する際に使用します。
⑧	選択	体重計の内部設定を変更する際に使用します。
⑨	ゼロ	表示をゼロにすることができます。

上記のエラーが解消できないとき、これ以外のエラー表示のときは、販売店へご連絡ください。

3.使用前の準備

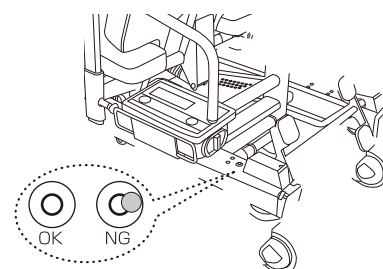
3-1 設置上の注意

体重計の性能を十分に引き出すために、以下の設定条件を考慮してください。

- 理想的な設置条件は、安定した温度と湿度、堅牢で平らな床面、風や振動のない所、直射日光のあたらない室内、安定した電源などです。
- 軟らかい床や振動する所には設置しないでください。
- ヒーターやエア・コンディショナーの前のように、風や温湿度変化の激しい所には設置しないでください。
- 腐食性ガス、引火性ガス・蒸気の漂う所には設置しないでください。
- 強い磁気や電波のある所のは設置しないでください。
- 静電気の発生しやすい所には設置しないでください。湿度が45%RH以下になると、プラスチックなどの絶縁物は摩擦などで静電気を帯びやすくなります。
- ACアダプタを使う場合、不安定な交流電源は誤作動の原因となります。

3-2 設置

- 水平器の中央に気泡がくるように、フラットな床に設置してください。
また、計量台に物などが当たらないように注意してください。



3-3 電源の準備

●電源投入前

電源投入前に下記の点検を行い問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	◆落下等による変形や損害はないか ◆各部に汚れ、サビ、キズ等はないか ◆パネル類に割れやガタつき等はないか ◆スイッチ類に破損やガタつき等はないか ◆結露や水漏れはしていないか
本体	◆サイドバーのガタつき、固定異常はないか ◆サイドバーの高さ調整ツマミを引いて、サイドバーが可動するか ◆背・座・フットレストのクッションにガタつきはないか ◆ストレッチャーと椅子の状態変更がスムーズに行えるか ◆本体は、水平で安定した場所に設置されているか(水平器で確認)
キャスタ	◆キャスターのガタつき、固定異常はないか ◆フットペダルを踏んでロック、フリー、後輪首振りロックがされるか
接続ケーブル	◆ACアダプタ電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いもの等が乗ってないか ◆電源ケーブル・プラグ、接続ケーブルは痛んでいないか ◆本体のコネクタに確実に挿入されているか

6 お手入れの仕方

1.点検

この商品はより高い安全性とより長い耐久性を追及して作られていますが、ご使用になる場所や条件、または長時間のご使用などによって変化することが考えられます。定期的な点検を必ず行って下さい。

2.お手入れ

本器への水分の付着や湿気は、さびや異音の原因になりますので避けると共に付着した場合には直ちにふき取るようにしてください。

3.清拭、消毒について

清拭掃除は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って使用し、乾いた布でふき取ってください。

- 消毒が必要な場合は、洗浄消毒液の一例として下記溶液をご使用ください。

- ・0.2～0.5% 塩化ベンザルコニウム水溶液（オスバン等）
- ・0.2～0.5% 塩化ベンゼトニウム水溶液（ハイアミン等）
- ・0.1～0.5% クロールヘキシジン水溶液（ヒビテン等）

上記の薬液等を湿した布で清拭してください。

5-2. 内部設定一覧

設定項目	設定値	内容・用途	
オートパワーオフ機能	F 1－0	オートパワーオフ機能停止	自動的に電源を切る
	◆ F 1－1	電池使用時にオートパワーオフ機能働く	
	F 1－2	電池、ACアダプタどちらでもオートパワーオフが働く	
	F 2－	項目 F 2－はありません	
	F 3－	項目 F 3－はありません	
表示固定	F 4～F 9	項目F4～F9は設定がありません。	
	F 1 0－0	表示固定はしません	
	F 1 0－1	5秒間	
	◆ F 1 0－2	10秒間	
	F 1 0－3	15秒間	
	F 1 0－4	20秒間	
	F 1 0－5	25秒間	
	F 1 0－6	30秒間	

◆は、出荷時設定を表します。

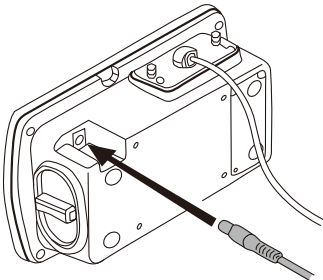
●電源投入後

電源投入後に下記の点検を行い問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	◆けむりが出たり、変なにおいはないか ◆異常な音が聞こえないか
体重測定	◆実測し、測定値および測定動作に異常はないか
スイッチ・ボタン	◆スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか
表示	◆表示に問題は無いか

●ACアダプタを使用する場合

- 付属品のACアダプタを用意してください。
- ACアダプタの出力プラグを表示器背面のACアダプタジャックに差し込んでください。



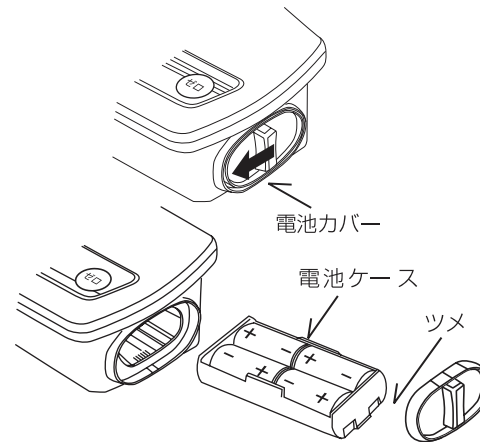
注意

- 専用のACアダプタ以外は使用しないでください。ACアダプタは、付属されています。
- ACアダプターケーブルは本体に当たらない様に注意して下さい。
測定値の誤差になります。
- 電源コードの被覆等に異常がないか確認してください。被覆に損傷があると、ショートや発熱による発火や感電の恐れがあります。

5. 内部設定

●電池を使用する場合

1. 新しい単2形乾電池（マンガン または アルカリ）を4本用意してください。
2. 電池カバーを右図の方向にずらして外します。
3. 内部に収納されている電池ケースを一度押し込んでツメを外し、取り出してください。
4. 極性に気をつけて新しい電池を電池ケースにセットしてください。
5. 電池ケースを表示内部に戻し、ツメがかかるように押し込んでください。
6. 電池カバーを元のように取り付けてください。



⚠ 注意

- ・電池ケースの表示にしたがって、+、-を正しくセットしてください。
- ・電池を交換する場合は、4本まとめて行ってください。
- ・異なった種類の電池を混ぜたりしないでください。
- ・長期間使用しない場合、あるいは専用のACアダプタのみで使用する場合は、電池を取り出してください。電池を入れたまま長期間放置すると、液漏れの恐れがあります。電池液漏れによる故障は、保証の対象外となります。

LBQ が表示されたら新しい電池と交換してください。

●充電電池を使用する場合

充電電池(AD6030-01)はオプションで、付属品ではありません。
ご注文の際は販売店・弊社営業所にお問い合わせください。

1. 乾電池の場合と同じように電池カバーを外してください。
2. 乾電池の場合と同じように内部に収納されている電池ケースを取り出します。
3. 新しい充電電池パックを表示器内部に戻し、ツメがかかるように押し込んでください。
充電電池と電池ケースは一体のパックとなっています。
4. 電池カバーを取外しと逆の手順で元の位置に取り付けてください。
5. 表示器にACアダプタを接続すれば、そのまま充電されます。
充電は約15時間で終了します。
6. 充電電池パックをお使いのとき、本機は約18時間ご使用になれますが、電池が消耗すると「LBQ」の表示がされますので、そのときは再度表示器にACアダプタを接続して充電してください。

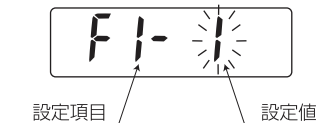
お知らせ

- ACアダプタを接続しているときは、充電電池パックの電池は消耗しません。

⚠ 注意

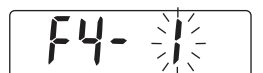
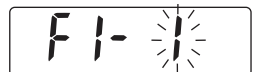
充電電池は、必ず専用オプションを使用して下さい。

内部設定は、体重計の動作方法を指定する項目を閲覧したり変更したりする機能です。
各項目の内部設定の値は、電源を切っても記憶されています。



5-1 設定方法

- 1 電源をオフにします。
- 2 **ゼロ**スイッチを押しながら**ON/OFF**スイッチを押して電源をオンすると、最初の設定項目が表示されます。
- 3 左の**設定**スイッチを使って設定値を変更します。
☐ 設置値を変更する必要がなければ何もせずに次に進みます。
- 4 右の**選択**スイッチを押すと、次の設定項目の表示となります。
☐ この段階では、新しい設定値が記憶されていません。
☐ 設定変更を中止する場合は、電源を切ってください。
- 5 最後の設定項目までステップ3と4を繰り返します。
- 6 最後の項目を設定し 右の**選択**スイッチを押すと、**End**表示になります。
- 7 もう一度、右の**選択**スイッチを押してください。各設定値が内部に記憶され、体重計は自動的に再スタート（電源オン）します。
☐ 本ステップ7を行わないと、設定値は変更されません。



4 ご使用方法

4-1 トータルロックの使い方

キャスターの3つの機能

<機能1> 4輪ロック機能

フットペダルを下側一杯に踏み込むとロックします。ストレッチャーからイスへの変形時、移乗時等本体を止めたい時にご使用ください。



注意

フットレバーロックは、走行中の本体を止める設計になっていないので、走行中には、フットペダルを操作しないでください。
トータルロックフットペダルの操作は、必ず足で行ってください。手で行うと指を挟み込むなどしてケガをする恐れがあります。

<機能2> 4輪フリー機能

フットペダルを中間位置にすると、4輪フリー状態になります。ベッドへの横付け、小回りさせたい時にご使用ください。

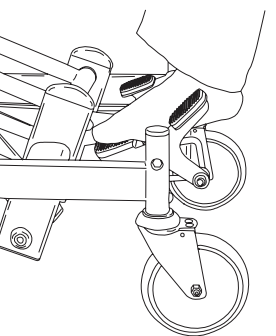
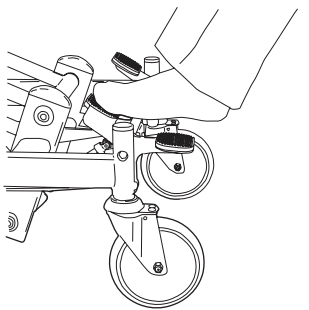
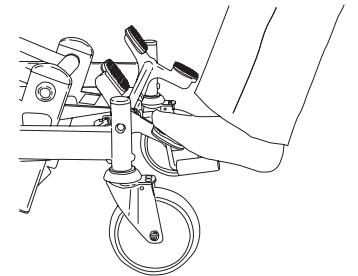
<機能3> 走行制御機能（直進安定）

ストレッチャー状態、イス状態を問わず、本体を走行させるときの走行安定性を上げる機能です。後輪2個のみに3つの機能があります。
フットペダルを奥に踏み込み1mlほど後退または、前進させますと、後輪2輪の首振りロックされます。ロックされたことを確認し、走行を行ってください。



注意

路面の横方向に傾斜がある場合必ずご使用ください。4輪フリーの状態ですと、本体を前に押しても傾斜方向に本体が走行し、思う方向にいきません。
走行制御機能は、片方が前向き、もう一方が後ろ向きでもロックしてしまいますので、そうなってしまった時は、一度、<機能2>の4輪フリー機能を使いフットペダルを自由にしてから、本体を後退または、前進させ、キャスターの向きを揃えてからロックしなおしてください。

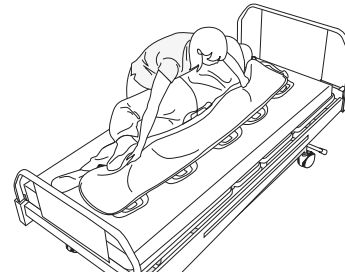


4-7 ベッドからの移乗方法

（別売移乗ボード「のせかえくん」を使用しての移乗の場合）

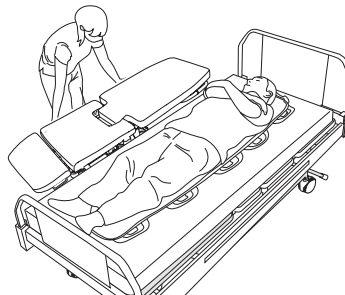
- 1 寝ている方を側臥にして、移乗ボード「のせかえくん」をしきこみます。

※体重測定の場合は先に、「のせかえくん」の重量を風袋引きしておきます。



- 2 体重計をベッドに横付けし、ベッドと体重計のどちらかで高さを調整し、キャスターをロックします。

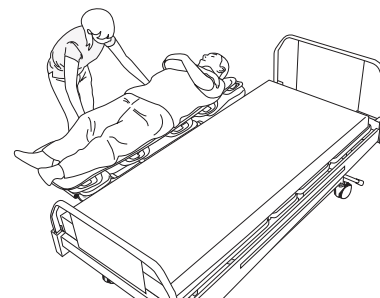
※体重測定の場合は、ベッドと体重計が接触しないように注意してください。



- 3 移乗ボード「のせかえくん」の取っ手を2ヶ所もちます。



- 4 取っ手をひきよせ、体重計の中心に移乗させて下さい。



ストレッチャーからベッドへの移動の場合は、手順3,4をベッド側から行ってください

4-2 高さ調整の仕方

移乗の際、ベッドに合わせ高さを調整したり、テーブル・車イス等との高さ関係を調整する事が出来ます。



警告

人が乗っている時は、操作しないでください。計量台が落下し、ケガや故障の原因となります。

❶ ロックペダルを確実に踏み込み、本体を止めます。

❷ (高さ調整❶) レバーを引き上げてください。

(高さ調整❶) レバー

❸ 次に、(高さ調整❷) レバーを握ってください。
(高さ調整❷) レバーを握ってしまえば、(高さ調整❶) レバーを下げて構いません。

(高さ調整❷) レバー

❹ (高さ調整❷) レバーを握ったまま、クッション面を上下させてください。

❺ 止めたい高さで (高さ調整❷) レバーを離してください。

●各機能の説明

- ☐ **ゼロ** スイッチは計量値が安定しているとき働きます。
- ☐ **ゼロ作動**
電源オン時に取られたゼロ点 (パワーオンゼロ) を基準として、計量値が約±2.9kg以内にあるとき **ゼロ** スイッチを押しますと、その点をゼロ点に設定します。このとき、表示がゼロになります。
- ☐ **風袋引き**
計量値が約±2.9kgを越えている場合、 **ゼロ** スイッチは計量皿上の重さを容器 (風袋) の重さとして差し引きます。表示値はゼロとなり、風袋引中マーク◀が点灯します。また、100kgを超えた風袋引はできません。
- ☐ **風袋引き動作の停止**
容器 (風袋) を取り除き **ゼロ** スイッチを押すことにより、風袋引きはクリアされ風袋引中マーク◀は消えます。
- ☐ **表示固定**
4kgを越えて安定マークが点灯した場合、体重計を降りても表示値が固定されます。一度、4kg以下になれば表示固定中でも次の計測ができます。"5-2.内部設定一覧"を参照し、"F10"を設定してください。出荷時は、表示固定の時間は10秒間に設定されています。
- ☐ **表示固定の解除**
・表示固定中に±3kgを超える変動がありますと、設定されている表示時間経過後に表示固定は解除されます。

・表示固定中に **ゼロ** スイッチを押すことにより、即座に表示固定は解除されます。計量値が安定状態ならば、ゼロ動作 または 風袋引き動作を行います。安定状態でなければ、固定表示の解除のみ行います。

・表示固定が解除された場合、4kgを超えていても再度の表示固定はされません。一度、4kg以下にすることにより表示固定が可能となります。
- ☐ **オートパワーオフ機能機能**
ゼロ表示が約5分間続くと自動的に電源の切れるオートパワーオフ機能があります。"5-2.内部設定一覧"を参照し、"F1-1"または "F1-2" と設定してください。出荷時は、電池使用時のみオートパワーオフ機能が働くようになっています。

●操作上の注意

- ☐ 鉛筆のような先のとがったものでスイッチを押さないでください。
- ☐ 衝撃的な荷重やひょう量を超えた荷重を加えないでください。
- ☐ 体重計内部に異物が入らないようにしてください。
- ☐ 計量値が安定しない場合、"-----"が表示されます。何か計量皿に触れていないか、強い風や振動がないかなど確認してください。原因がわかりましたらそれを取り除いてください。
- ☐ パワーオンゼロの働く範囲は、キャリブレーション時のゼロ点を中心に、±15kg以内です。この範囲を超えるようなものを計量皿にのせたまま電源を入れた場合も、"-----"が表示されます。のせたものを降ろしてください。
- ☐ 風袋引き動作の場合、実際に計量するものと合わせてひょう量(150kg)以内でお使いください。

4-6 測定のしかた



注意

- ・測定時の安全のため、必ずキャスターをロック（固定）してください。
- ・傾斜地での計量はしないでください。動く危険性があります。
- ・また、傾斜地では測定値に誤差が生じる場合があります。
- ・キャスターを前進状態にして測定して下さい。誤差が生じる場合があります。
- ・転倒の恐れがありますのでイス状態で測定する場合は必ず高さを最低位置にして下さい。

- ① 測定を開始する前に下記の事を確認してください。
 - ・電源の確認
付属の専用ACアダプタか、単2形アルカリ乾電池4本が取り付けであるか確認してください。（“3.使用前の準備”参照）
 - ・キャスターのロック確認
- ② **ON/OFF** スwitchを押して電源を入れます。表示チェックが始まります。
※体重計に物を載せて電源を入れると“-----”表示になることがあります。
セルフチェック機能のエラーとなります。
- ③ 表示がゼロになるよう **ゼロ** スwitchを押してください。
※**ゼロ** スwitchは風袋スswitchとしても機能します。
- ④ 表示がゼロになりましたら、体重計に静かに乗ります。安定マークが表示され、体重が読みとれます。
- ⑤ 測定が終了しましたら体重計から静かに降ります。
- ⑥ 電源を切るときは、**ON/OFF** スwitchを押してください。
- ⑦ 表示が消えます。

4-3 ストレッチャー・イスの状態変換のしかた

ストレッチャーからイス、イスからストレッチャーに、状態を変換する事ができます。
途中で止めて楽な姿勢にすることもできます。



注意

操作前に必ずキャスター（車輪）がロックしている事を確認してください。
状態変換中に動き出し、けがや思わぬ事故の原因となります。
すべての操作は、人が乗っていない状態で、近くに人がいないことを確認してから行ってください。

1. いす切替レバーを握り、ゆっくり上側に持ち上げて（下側に下げて）ください。
片方の手は、必ず移動ハンドルを握ってください。



注意

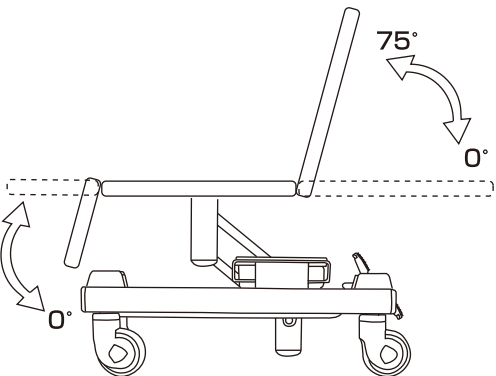
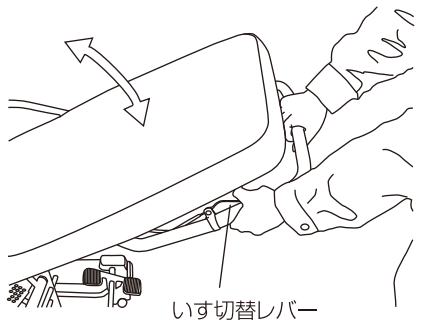
操作は必ず両手で行ってください！
レッグレスト位置を必ず通常位置に戻してから操作してください。（4-4、4-5参照）

2. 止めたい位置で、いす切替レバーから手を、はなします。
3. 0°（水平状態）から背もたれ角度約75°の間で、任意の角度で止まります。



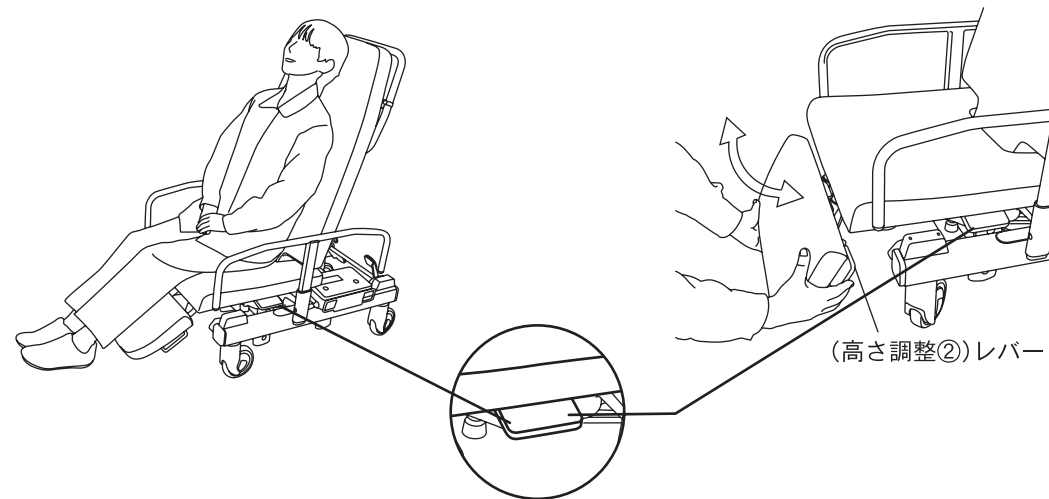
警告

本製品はストレッチャー状態では頭側と足側を逆に乗せても問題ありませんが、頭側と足側を逆に乗せたまま椅子状態に変形させますと、乗っている人が落下する恐れがあります。人が乗っている時に状態変換はしないでください。



4-4 レッグレストの角度調整のしかた

イス状態での体重測定の時、足を持ち上げる時使います。



警告

角度操作は必ず片手でフットレストを支えた状態で行って下さい。レバーのみ操作しますと、急激な角度変化により、乗っている方に不安を与えたり、思わぬ事故や故障の原因となります。

足が床面から離れている事を確認して下さい。
足が床面に付いていると、測定値に誤差が生じます。

●角度の調節

左手でフットレスト側面を持ち、右手でレッグレスト(角度調整)レバーを握ってゆっくり引き上げ(下げ)てください。
無段階の調整ができます。

4-5 サイドバーの使い方

サイドバーはストレッチャー状態での介護される方の安全確保(落下防止柵)の機能と、イス状態での手すりとしての機能があります。

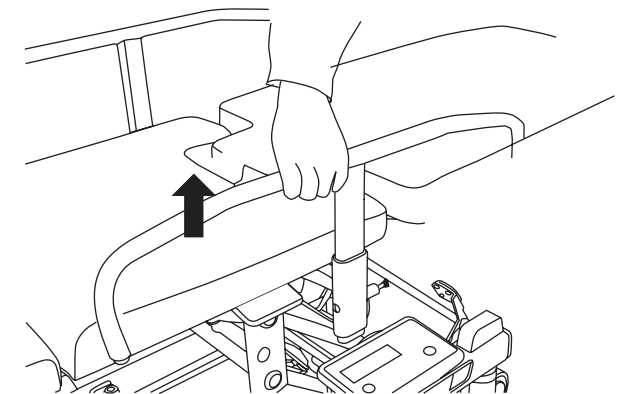
●サイドバーを上げる

- ① サイドバーの中心付近を持ち、引き上げてください。
- ② 所定の位置まで引き上げますと、カチッと音がして固定されます。

※サイドバーの高さは3段階に調整ができます。

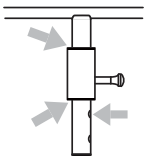
警告

必ずカチッと音がするまで引き上げ、固定されているか確認してください。
使用中に落下し思わぬ事故の原因になります。



警告

サイドバーを上下する際は、支柱の穴や隙間に指などを挟まぬようご注意ください。



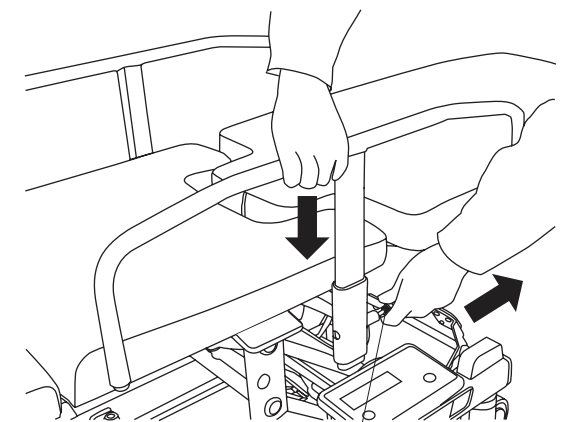
●サイドバーを下げる

- ① 片手でサイドバーを握ります。
- ② もう片方の手で、サイドバー高さ調整ツマミを引いてください。
- ③ そのままサイドバーを下げてください。

注意

操作は必ず両手で行ってください。
サイドバー高さ調整ツマミのみを引くとサイドバーが落下し、故障の原因になります。

サイドバーを勢いよく下げないでください。
本体に衝撃を与え故障の原因になります。
また、思わぬ事故やケガの原因になります。



サイドバー高さ調整ツマミ